

「新型インフルエンザ」は通常の「季節性インフルエンザ」と異なり、一般に皆さまに免疫が獲得されておらず、急速にヒトからヒトへと感染を繰り返し、全国的にまん延することで、国民生活に重大な影響を与えることが懸念されています。新型インフルエンザは重症化するタイプもあり、皆様の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれもあります。

新型インフルエンザは海外で発生し、その後、日本にやって来ます。保健所は、海外での新型インフルエンザ発生を確認したらすぐに、「どこの国で発生しているのか」、「どんな症状なのか」など、皆さまの疑問と不安に答えるための「新型インフルエンザ等相談窓口」を開設します。同時に、保健所は、「帰国者・接触者相談センター」も開設します。もし、新型インフルエンザが流行している国から帰国して、咳や高い熱が出た場合にはどうすればよいのでしょうか。海外で新型インフルエンザが発生している時、感染が疑われる人への診察は臨時に開設される専門外来（帰国者・接触者外来）だけで行われます。決してかかりつけ医を受診してはいけません。専門外来を受診するには、保健所が開設する「帰国者・接触者相談センター」での相談が必要です。

新型インフルエンザが発生したときは、皆さまと、医療機関、野田市保健センター、消防、保健所が一致団結して、野田での感染拡大防止に努めましょう。



## 健康な生活を支える

野田健康福祉センター（保健所）では、今後とも、住民の皆さまの保健・福祉ニーズに的確に応えられるよう、日々研鑽に努めるとともに、皆さまの健康な生活を支えていくという使命感を持って業務に携わってまいります。

## ノロウイルスによる胃腸炎に注意

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は秋から春先にかけて流行します。

### ■ ノロウイルス食中毒予防のポイント

1. ノロウイルスは、熱により活性が失われます。加熱が必要な食品は十分加熱調理してから食べましょう。特に汚染のおそれのある二枚貝などの食品は、中心部が85℃以上で90秒以上加熱してから食べましょう。
2. 野菜、果物などの生鮮食品はよく水で洗いましょう。
3. 食事の前、トイレの後、調理前、材料の下処理後、生ゴミの処理後はよく手を洗いましょう。
4. 調理器具からの二次感染を防ぎましょう。まな板、包丁、へら、食器、ふきん、タオル等は熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が有効です。

## 9月24日から30日までは、結核予防週間

厚生労働省では、毎年9月24日～30日を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

### ■ 結核は過去の病気ではなく、現代の病気

結核は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、今でも1日に56人の新しい患者が発生し、6人が亡くなる日本の重大な感染症です。2週間以上せきやタンが続くようなら、医療機関を受診しましょう。

特に高齢者は、せきなどの症状が無くても、倦怠感、食欲低下が続いたり、急にやせてきたりしたら、結核かもしれません。いつもと違うと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。



「チーバくん」